

GRADUATE OF SHIMANE UNIVERSITY

深めました。大学を選んだ理由も、このような学びを得るためのカリキュラムが充実していたからだそうです。そして進路選択の延長線上で出会ったのが『美保テクノス株式会社』でした。「インターンシップに参加して、幅広い業務内容や建築業界の先進性に触れることができ、大学での学びとやりたいことが結びついたんです。1つのことより、いろいろなものに関わりたいたいと思っていたので自分のやりたかったことも実現できると思いました」。同社は、土木工事、建築、リフォーム、電気工事など幅広い業務を行う一方、企画から一貫して行うPFI事業（※1）や、ICT（※2）・BIM（※3）などにも注力し新しいチャレンジも多く行っています。



実感したそうです。「実用性を重視するお客様にとって、使いやすいさは絶対。そこに加えて付加価値のあるデザインの提案は難しくもあり、やりがいもありました」と、完成したときの喜び、難しさの中にある面白さを教えてくれました。

大切にしているコミュニケーション

大学の最後の2年間はコロナ禍で学校に通えない日々でしたが、4年間での一番の収穫は、多様な考え方ができるようになったことだと足立さんは言います。「大学生になってから色々な視点から物事が考えられるようになりました。それは、サークルやアルバイト先も含め多くの人と関われたからだと思います。コミュニケーションをとることの楽しさも知れたような気がしますし、相手によって分かりやすい言葉に変えて工夫することも学生時代に構築できた能力

です」。サークルの友人とは今でも交流があり楽しい時間を過ごしている足立さん。人との出会いで培われたコミュニケーション力は、チームワークを大切にする職場でも生かされています。「頭の中にあるものをカタチにする仕事だからこそ、聞くことを大切にし、伝わるように話すことを意識してコミュニケーションをとっています」。

決めた選択に後悔しない

だから、選べる道をつくる

今、とても楽しく仕事ができているという背景には「決めた選択に後悔しない」という前向きな信念があります。現在、一級建築士取得に向け勉強をしている理由もまた後悔しないため。「二級建築士の資格ではできないこともあり、資格を取得して、学校やショッピングモールなどの大型の建築にチャレンジしたいです。学んだ環境工学が大規模工事でのように生かせるかも非常に興味があります」と、設計士でありながら研究者のような一面も見せてくれました。1日でも早く、大きな建築プロジェクトを動かせる責任者を目指し、努力は続きます。

（※1）PFI事業：民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設、改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。
（※2）ICT：デジタル技術を活用し設計や管理、施工を行うことで工事の効率化を実現する方法。
（※3）BIM：建築物をコンピュータ上の3D空間で構築し、企画設計・施工・維持管理に関する情報を一元化して活用する手法。

活躍する卒業生



美保テクノス株式会社 設計部 足立峻一さん

島根大学 総合理工学部建築デザイン学科2022年3月卒業



創る喜びを実感し、目標を持ちながら働く

カタチにすることの
難しさと面白さ

入社4年目を迎える足立さんは、『美保テクノス株式会社』で設計士として働いています。設計といっても、図面を描くだけが仕事ではありません。図面を起こすためには、イメージを具体化し誰もが理解できるようにしなければなりませんし、図面が完成したあとも施工や建物の管理サポートと責任ある仕事が続きます。

島根大学在学中は総合理工学部建築デザイン学科で環境工学を専攻し、人が快適だと思える住空間、採光の取り方、風の流れ方などを学び、環境そのものが人の暮らしを支える建築について理解を



美保テクノス株式会社

鳥取県米子市昭和町25

<https://www.miho.co.jp/>

鳥取県西部、島根県東部を中心に展開する総合建設会社。地域に貢献し、快適で暮らしやすいまちづくりを目指す。

